

# 目 次

政策提言の要約	1
第1章 はじめに	2
第2章 防災に関する現状分析	2
1 災害を受けやすい日本の風土について	
(1) 風水害	
(2) 地震	
2 地域防災力について	
(1) 阪神・淡路大震災にみる共助の必要性	
(2) 自主防災組織カバー率	
(3) 消防団員数の推移	
第3章 災害時要援護者避難支援体制の課題	4
第4章 政策提言	6
1 災害時要援護者避難支援ネットワークの構築	
2 隣近所協働グループの育成	
3 避難支援ボランティア隊の結成	
第5章 終わりに	13
資料 アンケート調査結果	14

# 政策提言の要約

## 現状分析

洪水又は地震等の災害発生時に、防災体制の不備から、特に『災害弱者』と呼ばれる人たちが被災するケースが増えている。



これまでの教訓を生かし、『災害時要援護者避難支援プラン』を策定し、災害弱者の避難支援に備える必要がある。



防災と福祉部局の連携が進み、『災害時要援護者』のリストアップは各自治体で進んでいるが、『支援者』の担い手がほとんど見つからない。

## 目標

協働（コラボレーション）による防災体制の活性化  
一人も見逃さない防災体制づくり

## 課題

近隣関係の希薄化や  
互助意識の欠如

地域活動の負担感の  
増大や担い手の不足

災害要援護者情報の  
共有不足

地域コミュニティの希薄化による『共助』の大幅な減退

## 提言・施策

### 提言 1

災害時要援護者避難支援  
ネットワークの構築

### 施策 1

民生委員などのインフォーマルサービスと、介護事業者等の福祉関係者や行政などが連携し、災害時要援護者の避難支援を実施する。

### 提言 2

隣近所協働グループの  
育成

### 施策 2

隣近所の数世帯と必要な情報を共有し、災害発生時には、災害救助を実施するなどの、強力な防災組織を育成する。

### 提言 3

避難支援ボランティア隊  
の結成

### 施策 3

提言 1、2でも支援者の見つからない災害時要援護者の、避難支援等に従事する、避難支援ボランティア隊を結成する。